

## I. 教職課程の科目に関する履修カルテ

### 1. 「教職実践演習（幼・小）」について

「教職実践演習」は、4年次後期に開講される初等教育課程必修科目で、初等教育課程の他の講義科目の履修や、その他の様々な活動を通じて身に付けてきた知識・技能を振り返り、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認するものです。この科目の履修を通じて、教員になる上での自分の課題を把握し、不足している知識・技能を補い、さらなる向士を目指します。

### 2. 「教職課程履修カルテ」について

「教職実践演習（幼・小）」の履修には、「教職課程履修カルテ」の作成・提出が必要です。「教職課程履修カルテ」には、入学してから4年次前期までの間に履修した科目や、教育実習、介護等体験、教職に関するその他の活動における学習内容及び学年ごとの自己評価を記録します。

### 3. 「教職課程履修カルテ」の内容

- (1) 小学校教諭免許状関係
  - ・教科に関する科目の履修状況
  - ・教科又は教職に関する科目の履修状況
  - ・教職に関する科目の履修状況
- (2) 幼稚園教諭免許状関係
  - ・教科に関する科目の履修状況
  - ・教科又は教職に関する科目の履修状況
  - ・教職に関する科目の履修状況
- (3) 教育職員免許法施行規則第66条の6で定める科目の履修状況
- (4) その他の科目の履修状況
- (5) 教育実習（事前・事後指導含む）の実施状況
- (6) 介護等体験の実施状況
- (7) 教職にかかわる自主的学習活動（ボランディア活動を含む）
- (8) 自己評価シート

### 4. これまでに作成したレポートや学習指導案など

### 5. 作成の手順

- (1) MICのホームページから、様式（エクセルファイル）をダウンロードする。
- (2) 学期毎に科目の履修状況を赤字で入力（その学期に履修した科目のみ）して、プリントアウトする。既にチェックを受けた科目の欄は、黒字にする。
- (3) 学科指定のファイルに綴じる。作成したレポートや学習指導案も綴じる。
- (4) 学年ごとに自己評価シートを記入する。
- (5) 4年次前期終了後、「7. 教職にかかわる自主的学習活動」、「8. (2) 教職を目指す上での自分の課題」を記入する。

### 6. 提出方法

学期末試験終了後1週間以内に、アドバイザーにファイルを提出し、確認印をもらう。

## Ⅱ. 自己評価シート

### 1. 必要な資質能力についての自己評価

- (1) 必要な資質能力の指標・項目・指標において、1年次終了時・2年次終了時・3年次終了時・4年次終了時に自己評価をする。

#### ○評価点の基準

- 5：よくできる
- 4：ある程度できる
- 3：どちらとも言えない
- 2：あまりできない
- 1：できない

### (2) 必要な資質能力の指標・項目・指標の説明

- ①学校教育についての理解
- ②子どもについての理解
- ③他者との協力
- ④コミュニケーション
- ⑤教科・教職課程に関する基礎知識・技能
- ⑥教育実践
- ⑦教職に向けての課題探究

### 2. 教職を目指す上で課題と考えている事項